



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

6月園だより

令和5年5月26日

May 26, 2023

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai



心が動き 響くことから

園長 河合 晴美

先日は、親子活動に御参加いただきましてありがとうございました。3歳児りんご組のかけっこ、4歳児ばら組のバスタオルに乗って移動する遊び、5歳児さくら組の親子でのリレーなど、それぞれの学年が笑顔いっぱい遊ぶ姿がありました。親子が向かい合う場面では互いに微笑み合い、その表情に温かさがあふれていたことが強く印象に残っています。特に3歳児りんご組は、入園し緊張した中で過ごした日々がありましたので、格別この日の笑顔には嬉しさが満ちていました。

また、5歳児さくら組は、体育館に設置されたボルタリングに初めて挑戦しました。よく見て、考え動いていくことが求められ、試行錯誤しながら取り組んでいました。

数日が経ち、親子で栽培した3歳児のミニヒマワリ、4歳児の枝豆、5歳児の野菜も順調に生長しています。毎日楽しみにしながら水をあげ、休み明けには、さらに大きくなっている変化を親子でも話題にし、楽しんでいただきたいと思います。

今年度、南山幼稚園の園内研究（教員が幼児の様子を読み取りながら指導方法を考察し指導に生かしていく継続的な取組）は、「自ら考え かかわりを深め 豊かな学びを創り出す子どもの育成 ～自然と関わる体験を通して幼児の育ちを支える教師の援助の工夫～」について進めてまいります。自然と関わることでは、発見や驚き、嬉しさもあれば残念なこともあり、様々な思いが生じます。幼児がどのように自然と出会い、自分自身に取り込んでいくかをとらえていくことで、学びや成長につながる生活を創っていきます。そして、季節による環境の様子や変化等に気づき、その不思議さや美しさを感じる幼児の感性が花開くとともに、好奇心や探究心を育みながら命を大切にしようとする態度を養うことを目的としています。様々な言語を母国語にもつ幼児たちにとって、思いを共有するために言葉を選ぶより、心が動いた瞬間の表情や動きを知り、思いが響いていくつながりも大切にしたいと思います。そして、その様子を発信していきます。



<3歳児 栽培物への水やり>



<4歳児 ユスラウメの収穫>



<5歳児 ボルタリングに挑戦>